

ONAIR [オン・エア]

2020
August

No. 130

STUDY @ HOME



今こそ、学び方改革!

特集 オンライン教育の現状

オンライン教育センター長
近藤 智嗣 教授インタビュー 01

放送大学入学ガイダンス 05

▶ 4つの特徴 05

▶ 3つの授業スタイル 07

▶ 6つのコース 08

MESSAGE 放送大学長 來生 新 09

ここも、学び方改革!

【特集】

オンライン教育の現状

ONLINE EDUCATION

放送大学でも2015年度より導入しているオンライン授業。
今年も、新型コロナウイルスの影響で、注目度がさらに高まっています。
インターネットを介することで変わっていく学びの
スタイルや今後の可能性について、
放送大学 オンライン教育センター長 近藤 智嗣 教授に伺いました。



近藤 智嗣教授

PROFILE

放送大学オンライン教育センター長、情報コース教授。
専門は、バーチャルリアリティ、展示学。現実とバーチャルを融合する「ミクストリアリティ」という技術を教育に応用する研究開発。

STUDY@HOME



オンライン授業では何ができるのか？

オンライン授業は、現在はおよそ60科目を開講しています。卒業要件124単位中20～30単位は面接授業で取ることになっていますが、オンライン授業はこれに置き換えることができます。もともと放送大学は放送による映像授業が主体ですが、オンライン授業は、そうした映像授業に加え、1回の授業ごとに実施する小テスト*1の解答や解説をその場で得られたり、レポートをその場で送信できたりという、インターネット上の「双方向性」という大きな特徴があります。

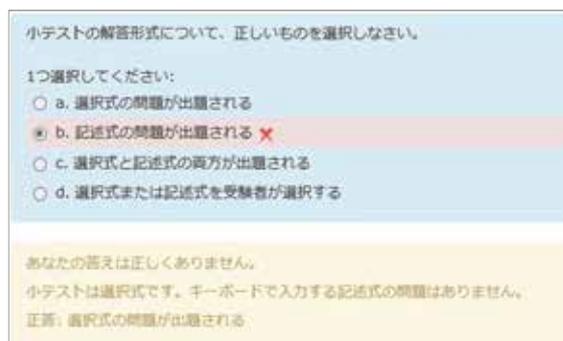
例えば「河川環境シミュレーション」を扱う授業*2などでは、Webサイトでシミュレートしたデータをダウンロードし、それを統計解析したレポートを提出するといった今までの放送授業ではできなかったことが可

能になりました。

さらに大きな相違点として、学生同士でディスカッションを行える点が挙げられます。講師がテーマを出して学生同士が議論するので、「学び合い」が生まれるという特徴もありますね。このディスカッションは、リアルタイムのチャットではなく、掲示板を使ったフォーラム形式*3で行われています。興味深いのは、ひとりの学生が出した疑問点について、講師が反応する前に他の学生が答えたりすることです。学生同士で“新しい学び方”を切り拓いている印象を受けます。放送授業では、講師の講義を聞き印刷教材を読むのが一般的な勉強のスタイルですが、オンライン授業では自分が調べたことや体験したことを学生同士でお互いに学び合っていくスタイルも可能になってきています。学び方そのものが変わってきているように感じます。

学生同士の交流で学習をより深く

オンライン授業では「学習内容をただ覚える」というだけの勉強ではなく、意見交換に参加するなど、より積極的な姿勢が必要になります。現在実施しているオンライン授業の中には数百人の学生が受講する科目もありますが、そうした場合は適正な人数にグループ分けをしてディスカッションを行うこととなります。単位認定の際は、授業中の小テストやレポートの内容はもちろんのことですが、このディスカッションも評価対象の科目もあり、総合的に評価されます。これまでのように学期の終わりに1回のテストで評価する形式ではなく、学んでいる期間すべての成果を評価する方式になっているのです。



*1 オンラインの小テスト



*2「河川環境シミュレーション」での画面

S. Mayama, Tokyo Gakugei Univ.
K. Kato, S. Seino, H. Omori, Univ. Tokyo



*3 学生たちがディスカッションする掲示板



講師の話す姿と教材フリップのマルチ画面

授業内容の更新という点では、オンライン授業は、学期ごとに細やかな授業内容の改訂が行えるところも利点です。

コロナ禍で変わる 学びのスタイル

2020年の1学期は、対面形式の面接授業がすべて中止となりました。しかし、面接授業が卒業要件だった学生が無事に卒業できるよう、今後の授業形式について執行部で検討が重ねられました。そして、Web会議システム等を使う形式、従来のオンデマンド形式、ハイブリッド形式で対応するという結論に至りました。具体的には、7月1日から8月2日までの間に80科目ほど開講するという計画です。

放送大学は、基本的に放送を見て勉強する「非同期型」¹と呼ばれるスタイルでしたが、学生と教員がリアルタイムで実施する「同期型」（同時双方向）がいよいよ実現するわけです。実は、この「同期型」は開学前の計画にも盛り込まれていたようですが、実際には「非同期型」になったという経緯がありました。それがこの新型コロナウイルスの影響で一気変わったのです。収束後も、このスタイル

は定着させていきたいと思っています。

もちろん現時点では、大学として今後の方向性が定まっているわけではなく、今回は、あくまでも緊急事態としてこの方式を採用したわけです。学生にしても教員にしても初めてのスタイルですので、まだまだ工夫や慣れが必要です。そのために現在、教員を対象とした勉強会が始まりました。学生を対象とした体験会等も順次開催していく流れになっています。今回の緊急事態を経て、平常時にも活用可能との結果が出れば、放送大学の学びにおける“4番目のスタイル”として定着していくでしょう。

ICT（情報通信技術）で 未来はどうか？

昔、放送大学の広報で「自宅がキャンパス」というキャッチフレーズがありましたが、放送大学は、そもそもが自宅学習のスタイルです。ですから、緊急事態宣言下でも対応可能です。しかし、先ほどの面接授業や単位認定試験は慎重に対応しなければなりません。特に試験については、今期に限り自宅で受験できるよう変更せざるを得ませんでした。ですが、このことについても以前から構想があったのです。試験期間中であれば、いつでも学習センターで試験が受けられる仕組みや、学習センターまで行くのが難しい学生が自宅で受けられる仕組みを増やしていくべきだという議論があり、試行的なことから進めています。今学期の試験は、郵送で行いますが、将来的にはインターネット環境がある場合には、学習センターに行かなくても受験できる仕組みになっていくと思います。

専門的な話になりますが、「CBT（Computer Based Testing）」²というのがあります。これはコンピュータを利用した試験方式のこと

用語解説

1.非同期

インターネットによる学習には、Web会議システムなどを利用したリアルタイムな同時双方向型の学習と、あらかじめ用意された講義映像を要求に応じていつでも視聴できるオンデマンド型がある。前者が同期型、後者が非同期型と呼ばれている。

2.CBT / IBT

Computer Based Testing / Internet Based Testingの略で、Web上で試験を受けることである。放送大学では、IBTが自宅などインターネット接続可能な場所で試験を受けることに対して、CBTは指定された試験会場で行うこと、として区別している。

3.LA

Learning Analyticsの略で、オンライン授業などで蓄積される膨大な学習履歴データを可視化・分析し、学習者、講師、教材制作者などへフィードバックすることで、オンライン授業などを向上させることである。

です。自宅で受験中にほかのWebページを開けなくするシステムなどもありますので、適正な試験を行えます。放送大学が基準とする「厳格な試験」を維持しながら、あらゆる人にとっての利便性を向上させることが可能になっているのです。

また「LA(Learning Analytics)」3と呼ばれる学習履歴分析も、この数年、議論されているものです。オンライン授業では、これまでの受講者の学習履歴などのデータが蓄積されていますので、それらを解析して、学習・教育の向上のために活用しているというのが「LA」の考え方です。例えば講義映像のある時間に多くの人が視聴をやめていたら「これは内容に問題があったのではないか？」と制作にフィードバックできます。また、つまずきの多い箇所でもより丁寧な解説を加えるなど、より良い学習環境づくりに役立ちます。今はまだ研

究開発中ですが、今後1年以内に、その一部でもスタートさせていけたらと思っています。

技術からサービスへ。 広がるヒトの輪

今回はオンライン授業をメインにお話しましたが、対面形式の面接授業には、各地域に密着した魅力的な授業もたくさんあります。放送大学の良いところは残しながら、新しい技術を取り入れ、学生、講師、スタッフの全員のために常に向上していくのが放送大学の良さだと思っています。

また、面接授業の代替措置として、Web会議システムの利用など、その変化に戸惑いを感じている方や、インターネットに接続できない環境で困っている方もおられます。放送大学は、決してそのような学生を切り捨てることはないということをお伝えしておきたいと思います。まず、放送授

業は今までと同様ですし、緊急事態宣言の解除により、学習センターにも通えるようになってきましたので、学習センター内の設備を用いてWeb会議システムによる授業を受けることも可能です。

また、学習センターでは、さまざまなパソコン系のサークルが活動しています。同窓会・学友会という組織もあります。私たち教職員も頑張りますので、これを機に新たなスキルへの挑戦もしていただきたいと願っています。これからの時代は、教員も学生も次々と新しいことにチャレンジしていかなければならないでしょう。そうすることでお互いに学び合い、学習の幅を広げていけるものだと思います。そのためにも、今ある技術を如何にサービスとして提供できるかが課題です。コミュニケーションの場をオンライン上でも広げていければと思っています。



あなたは、 いつ、どこで 学びますか？



**放送大学は
文部科学省・総務省所轄の通信制大学です**
大学卒業(学位取得)・教養を身につける・
興味ある分野を学ぶ・資格のための単位修得など…
さまざまな目的で学べる正規の大学です。

放送
大学



1 目的に合わせて3つの学生種から選択できます。

全科履修生…… 大学卒業を目指す方。最長10年間在籍可能。
所定の期間在籍し所定の単位を修得する。

選科履修生…… 特定の科目のみを学びたい方。1年間在学(2学期間)。

科目履修生…… 特定の科目のみを学びたい方。6カ月間在学(1学期間)。
(大学院についてはHPあるいは募集要項をご覧ください)

2 大学卒業(学位取得)を目指せます。

大学卒業資格の「学士(教養)」の学位取得ができます。
(大学院の修士・博士後期課程も設けられています)



放送大学は、国が認可した正規の大学です。

大学卒業資格(学位)の取得を目指すだけでなく、キャリアアップや生涯学習、資格取得など、目的に応じた学び方ができます。

入学試験ありません。

所定の期間在学し、かつ所定の単位を修得し卒業すると「学士(教養)」の学位が取得できます。

大学院で「修士」や「博士」の学位の取得も目指せます。

興味のある分野から特定の科目のみ学ぶこともできます。1年間在学できる「選科履修生」と半年間在学できる「科目履修生」があり、お試して入学したい方にも最適です。



3 学費を抑えて学べます。

入学料 全科履修生 …… 24,000円
選科履修生 …… 9,000円
科目履修生 …… 7,000円

授業料 1単位 …… 5,500円
卒業までに必要な費用は、706,000円～です。

4 入学試験はありません。

・学力試験はなく書類選考のみで入学できます。
・入学機会は、4月・10月。年2回あります。

出願期間 4月入学 : 11月下旬~3月中旬
10月入学 : 6月中旬~9月中旬

※詳細はHP あるいは募集要項をご覧ください



自分の生活スタイルや
受講科目に合わせた授業形態を
選択することができます。



放送大学では、BSテレビ・ラジオを通じて授業を受けます。科目によって、テレビ科目とラジオ科目に分かれます。録画しておけば、いつでも好きな時間に自宅で学習できます。学生になれば、インターネットで視聴することもできるので、仕事や家事で忙しい方も、自分のペースで無理なく学べます。

放送大学

3つの 授業スタイル

1 放送授業

BS放送で放送。放送で授業を受けて、
学習センター等で試験を実施し単位修得。
(一部を除き、放送授業はインターネットでも配信。)

2 オンライン授業

インターネットのみで受講。
試験等はなく授業内の学習活動で単位修得。

3 面接授業（スクーリング）

全国の学習センター等で開講。
実験やフィールドワークも実施。





放送大学

6つのコース

全科履修生は6つのコースから1コースを選択して所属します。

4 人間と文化コース

哲学、美学芸術、歴史学、地域文化研究、文学、言語文化、人類学、比較文化等の分野。自分や自分の周囲を発見し、人類の歴史、文化、社会を知り、真の自分を発見する学問分野です。

1 生活と福祉コース

日常の衣食住に関連すること、家族、健康、福祉等、身近な事柄を対象に学び、人の生活に関わるさまざまな領域を総合的に研究し、教育しています。

5 情報コース

コンピューターや通信システム、ソフトウェアの仕組みや処理される情報の性質を理解して、情報や情報通信技術と人間や社会とのかかわりを学び、「情報」からさまざまな問題を解決する術を身につけることを目指します。

2 心理と教育コース

教育系、心理系、臨床心理系の3つの領域から構成され、広く人間の発達に関わる問題を総合的に研究し教育しています。

6 自然と環境コース

大きく分けると、「生命・生態系」「物質・エネルギー系」「宇宙・地球系」「数理系」の分野から成り立つコース。初歩からの科目も多いので自然科学を初めて学ぶ人も基礎を理解し、導入科目や専門科目へ理解を深化しましょう。

3 社会と産業コース

法律、政治、社会、経済、経営、会計、環境、デザイン、農業、工業等の幅広い領域にわたるコース。ビジネス、産業、自然環境、社会環境等の現代社会の問題についての認識を深めます。

入学の機会は4月と10月の年2回あります。書類による選考のみです。学力試験はありません。

全科履修生として入学するには、満18才以上で、高等学校卒業・高等学校卒業程度認定試験合格などの大学入学資格が必要です。

その他にも

特定分野を体系的に学べるエキスパート制度や、修得した単位をさまざまな資格取得に生かします。詳しくはホームページや学部案内をご覧ください。

 放送大学 www.ouj.ac.jp

インターネットで資料請求も出願もできます！



MESSAGE

オンライン教育の可能性

放送大学長 來生 新

新型コロナウイルスの影響により、学びの場では、「オンライン教育」が注目を集めています。

その先駆的存在である放送大学。

オンラインの活用により大学の教育はどう変わっていくのか、來生学長からのメッセージです。



より良く生きる力を 身につけるために、学び続ける

人生のいろいろな局面において、人はさまざまな問題に直面します。折しも今、放送大学においても予期せざる新型コロナウイルスの蔓延という事態によって、大学全体として4月からの面接授業や新入生の集い、学習センターでの活動が大幅に制限されました。

しかし、このような状況であっても、日本で唯一、「放送授業」「オンライン授業」「面接授業」という3つの教

育手段を組み合わせることで遠隔高等教育を行っている放送大学は、放送とインターネットを通じて学習を継続することができました。

なかでも、オンライン授業は、インターネット環境があれば、場所や時間に縛られず、自宅でも、どこでも、自分のペースで学ぶことができます。放送大学では、2015年よりオンライン授業を導入してきましたが“Stay home”が推奨され、全国の学校が長期休校となった今回、緊急時でも“授業を継続できる”有効な教育手段だと、広く認識されたのではない

でしょうか。

オンライン授業のメリットは多々あります。放送授業は、1つの学期に放送できる番組数が限られますが、オンライン授業は無制限なので、時代のニーズに即した新しい科目を弾力

Stay homeに
呼応して本学では
“STUDY@HOME”と
題し本誌やWebマガ
ジンをお届けします



的に増やせます。また、双方向のやり取りができるので、課題などの総合評価が可能になり、原則として単位認定試験も不要。いろいろな制約から自由になれる授業形式といえます。

では、そもそも人はなぜ「学び」続けるのでしょうか。

例えば、今回のコロナ禍のような事態に遭遇したとき、どのように対処するか。すべての人が、ある意味、とまどい、自らの行動をうまく制御できなくなるような可能性があります。

しかし、どんな時にでも学習をする、学び続けていくことで、人が想定もしない環境の変化の中でさまざまな情報を効率的に集め、取捨選択し、自らの適切な行動をどのように選択していくかを考える能力、実際に行う能力を身につけることができるのです。それこそが学習の目的だと私は考えます。

人生100年時代の 人材育成に貢献

では、人生100年時代といわれる今、人生の問題解決能力を高めるためには、何を学んだらいいのでしょうか。放送大学が提供すべき「教養教育」は、何でしょうか。これが、私たちがここ数年継続的に取り組んできた最大の課題でした。

その背景には、私たちを取り巻く社



YouTubeチャンネル『キャンパスガイド』で語る来生学長



『新型コロナウイルス流行の中で』というシリーズで放送大学教員から発信される情報の数々

本学では、通常の放送授業のほか、無料で受講できるインターネット講座を多数配信しています

会環境の大変化がありました。ありとあらゆる分野での情報生産の量とスピードが、過去の間人社会では想像もつかないほど増大している情報化時代にあって、一人一人の個人が獲得した既存の知識は、非常に速いスピードで陳腐化しています。また、職業人として求められるスキルの変化も急激で、常にスキルのアップデートが必要になってきました。

人が社会的に有用な存在であり続けるためには、どんな職業であるか、どんな生き方であるかにかかわらず、「人は常に学び続けなければならず」、しかも「それを生涯継続すること」が強く求められる時代がすでに来つつあるのです。

そこで、このような環境変化の中、私たちは、人生のそれぞれの段階で人それぞれが直面する問題をより良

く解決する能力を高めるもの——、それが「教養」だと考えました。古典的な意味での教養だけではなく、新しい時代に適応して生きていくために必要な職業的な知識も大事な要素となりました。そうした実践的能力を高める教養も含めた、「新しい意味での教養教育」を、社会のニーズに合わせて提供していく、それが21世紀における放送大学の使命だと考えたのです。

学び続ける意欲を持つすべての人の学習を、多彩なコンテンツをもって、支援していくことができるのではと期待し、人生100年時代の多様な人材の育成に貢献していければと願っています。

ぜひ、世代を超えて、多くの方が放送大学での学びを体験し、楽しみながら、「21世紀の新しい教養」を身につけていただければと思います。

就任教員のお知らせ

2020年4月に就任した
教員をお知らせいたします。



くわはら ともこ
桑原 知子 教授

公認心理師教育推進室



きたはら ともりのり
北原 知典 准教授

公認心理師教育推進室



いとう まさる
伊藤 匡 准教授

公認心理師教育推進室

昇任教授のお知らせ

2020年4月1日付にて、
教授に昇任しましたので
お知らせいたします。



おおはし りえ
大橋 理枝 教授

人間と文化コース

NEW

ONAIRがWebマガジンになりました。

STUDY @ HOME
今こそ、
学び方改革!

<https://www.ouj-webmagazine.jp/>



編集後記

現在も私たちの生活を脅かし続けているパンデミックは、昨年までの時間の流れを一変させてしまいました。このような脅威が無ければ、ONAIRを通して東京オリンピック・パラリンピックに貢献される放送大学の学生さんの特集をお伝えしていたことでしょう。しかしながら、過去の既定路線とは隔離された空間に現在の時間帯は存在しています。放送大学は、常に新しい学びを追い求めて

前を向いています。今回の130号は、私たちの意思表示でもあります。本学の特徴でもあるICTを活用した教育のスタイルは、今や世界中の人々の誰もが知る存在となりました。特集で紹介させていただいた近藤智嗣先生の言葉にもあるように、教職員も学生も次々と新しい学習形態にチャレンジしていかなくてはならないでしょう。

(委員長・石崎克也)

学内広報委員会(2020年度)

委員長	教授	石崎 克也
委員	教授	大曾根 寛
	准教授	波田野 茂幸
	教授	原田 順子
	教授	島内 裕子
	教授	伏見 清香
	教授	隈部 正博
茨城学習センター	所長	佐藤 和夫
総務部	部長	加藤 弘樹
学習センター支援室	室長	山内 克也
オブザーバー	副学長	池田 龍彦

ご意見やご感想をお聞かせください。メールアドレス koho_ka@ouj.ac.jp